

かりこうし 借耕牛を通じて「本当の豊かさ」を 問いかける

6/12 三豊市内

夏と秋の農繁期に徳島県西部から香川県内の農家に農耕用の牛が貸し出されていた慣習「借耕牛」を題材に、徳島県三好市出身の映画監督である篤 哲一朗さんにより映画「黒の牛」の撮影が行われました。

借耕牛の慣習は、江戸時代中期から1970年頃まで続き、多くの牛を飼育していた徳島県の三好市や美馬市から、香川県内の農家が田植えや稲刈りを行う時期に牛を借り受け、対価としてお米を支払っていたと伝えられています。

明治期の徳島県西部を舞台に、山間部で暮らす1人の男性と1頭の牛が過ごす日常をモノクロで描き、豊かさを問いかける作品となっています。この作品は、来年の秋頃、公開を予定しています。



▲借耕牛を引き渡すシーンの撮影



◀監督の篤 哲一朗さん

地元の人たちと田植え体験

6/10 ニノ宮小学校周辺

ニノ宮小学校の4～6年生34人が田植えを体験をしました。地元の「ニノ宮ふる里体験農業の会」の協力のもと毎年実施しており、20年以上続く取り組みです。子どもたちは裸足になって水田に入ったあと、植え方を教わりながら、目印に沿って少しずつ間隔をあけて苗を植えていました。

モチミノリという品種と古代米の2種類を植え、秋に稲が育つと「ニノ小」という文字が浮き出るような田んぼアートになっています。



▲地元の人に丁寧に教えてもらいました



▲田植えを終えてみんなで記念撮影



▲真剣な表情で歯ブラシを使う子どもたち



楽しく学んで虫歯予防！

6/5 市民交流センター

歯と口の健康週間に合わせて「歯と口の健康フェスタ」が開催されました。会場には家族連れを中心におよそ500人が訪れ、フッ素塗布やクイズラリーなどを通して、虫歯予防について学びました。

歯ブラシ圧チェックのコーナーでは、歯科衛生士から歯みがきをするときの適切な力の入れ方を教わりながら、子どもたちは上手な歯ブラシの使い方を身に付けていました。

「共同送迎サービス」いよいよ本格運行

6/6 財田町国保高齢者保健福祉支援センター

複数の通所介護事業所に通う利用者を共同で送迎するサービスの本格運行がスタートしました。2年前から取り組んできたこのサービスが実装することで、人材不足により深刻化している事業所職員の業務負担の軽減につながることを期待されます。

開始式で山下市長は「共同送迎サービスが定着し発展していくことで、将来の福祉介護分野における移動が、より気楽にストレスのないものになることを願っています」と喜びを述べました。



▲事業主体となるタクシー事業者、介護事業所などの関係者



▲専用のユニフォームを身につけたドライバーが、利用者の乗降を補助

みとよHOT ほっとNEWS

ほっとニュースは
市ホームページでも [三豊市](#)

大きく育った、たまねぎを収穫！

6/1 大見小学校周辺

大見小学校の4～6年生77人がたまねぎの収穫体験を行いました。このたまねぎは昨年11月末頃に子どもたちが植え付けて、地元農家の永井末廣さんが世話をしてくれたものです。

子どもたちは大人に収穫方法を教わりながら、「いっぱい抜くぞー！」「大きいのがとれた！」などと楽しそうに収穫していました。

この日収穫したたまねぎは、三野町内の学校給食でおいしくいただきました。



身近な食材 たまねぎについて学ぼう！

6/3 本山小学校

本山小学校の3年生22人を対象に株式会社七宝の筒井和光さんを講師に招いて、たまねぎの出前授業が行われました。子どもたちは、長細い形や平らな形などのたまねぎを実際に手に取り、匂いや重さの違いを体験。たまねぎを育てる中で、蜂による受粉が大事だと学んだ後、受粉を行う蜂の蜂蜜を試食するなど、さまざまな体験をしました。



▲蜂の巣に貯められた蜂蜜を試食